

被ばく低減対策好事例集

場 所		分 類											
原子炉建屋内	RB	3	1 時間										
タービン建屋内	TB		2 距離										
R ZONE	R		③ 遮へい										
Y ZONE	Y		4 線源の除去										
G ZONE	G		5 遠隔、ロボット化										
その他 ()	Z		6 汚染拡大防止										
			7 その他										
		番 号	30-04										
内 容		ロボットを使用した原子炉建屋5FL(オペフロ) 調査											
作業場所		2号機 原子炉建屋5FL (オペフロ)											
概 略		原子炉建屋5FL (オペフロ) 内の線量率・汚染密度の測定等で使用したロボットの点検場所の鉛遮へい											
評 価 (定性・定量)	効 果		対策前	対策後									
		被ばく線量(mSv)	55.01	34.38									
		人工数(人日)	--	--									
事例詳細													
対策前 ロボットメンテナンスエリアが高線量率であった。													
対策内容 ロボットメンテナンスエリアに鉛遮へいを設置した。													
ロボットメンテナンスエリア 前室 オペフロ 構台 遮へいなし × 0.13 × 0.24 × 0.30 0.25 × 0.15 × 幾何平均 0.24 ×: 空間線量当量率  鉛板: 4重(厚さ12mm) 鉛遮へい 幾何平均 0.15													
<table><thead><tr><th>鉛遮へい設置の効果</th><th>遮へいなし</th><th>遮へいあり</th></tr></thead><tbody><tr><td>メンテナンスエリアの線量当量率 幾何平均 (mSv/h)</td><td>0.24</td><td>0.15</td></tr><tr><td>6/23 ~ 7/20 の被ばく量 (メンテナンスエリアでの作業) (人・mSv)</td><td>55.01</td><td>34.38</td></tr></tbody></table> 20.63 人・mSv 被ばく低減					鉛遮へい設置の効果	遮へいなし	遮へいあり	メンテナンスエリアの線量当量率 幾何平均 (mSv/h)	0.24	0.15	6/23 ~ 7/20 の被ばく量 (メンテナンスエリアでの作業) (人・mSv)	55.01	34.38
鉛遮へい設置の効果	遮へいなし	遮へいあり											
メンテナンスエリアの線量当量率 幾何平均 (mSv/h)	0.24	0.15											
6/23 ~ 7/20 の被ばく量 (メンテナンスエリアでの作業) (人・mSv)	55.01	34.38											